

JOYO BANK NEWS LETTER

2024年6月11日

JOYO GXプロジェクト 2023年度取り組み結果および協賛・寄付の実施について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、全行で統一して環境負荷の低減に取り組む「JOYO GX（グリーントランスフォーメーション）プロジェクト」の2023年度取り組み結果と協賛・寄付の実施について、下記のとおりお知らせいたします。

当行を含むめぶきフィナンシャルグループは、「グループサステナビリティ方針」および「グループ環境方針」を定め、2030年度までに自社グループのCO2排出量をネット・ゼロとすることを目指しています。本プロジェクトは、当行全営業店および本部において、事業活動における電力使用量および紙資源消費量の削減目標を設定し、CO2排出量を削減していくもので、2024年度も取り組みを強化し継続してまいります。

記

1. JOYO GXプロジェクトの概要

名 称	JOYO GX（グリーントランスフォーメーション）プロジェクト
対象部店	全営業店・本部
実施期間	2023年4月～2024年3月
削減対象	① 節電（当行全施設における電力使用量の削減） ② 通帳レス（紙通帳からWEB（無通帳）口座への切替推進による紙資源の節約） ③ 印刷レス（業務デジタル化による紙使用量の削減）

2. 2023年度CO2排出量削減実績

年間485トン（2021年度の常陽銀行のCO2排出量の4.7%相当）

3. 2024年度のJOYO GXプロジェクトについて

2024年度（2024年4月～2025年3月）は、新たに全営業店・本部における各種削減状況の見える化を行い、全役職員へサステナビリティへの取り組みのさらなる浸透を図るとともに、効果的な取り組み事例の共有、デジタルを活用した業務効率化等を継続し、CO2排出量を削減してまいります。

【CO2削減効果目標】 年間500トン（2021年度の常陽銀行のCO2排出量の5%相当）

4. 協賛・寄付の実施

2023 年度の取り組みによる CO2 排出量削減効果の一部を、以下の 3 先に総額 300 万円の協賛・寄付を行い、地域の脱炭素取り組みを後押ししてまいります。

協賛・ 寄付先	株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック ・当社GXプロジェクト※への協賛 ※Jリーグが推進する気候変動アクションに賛同し、耕作放棄地を活用して、有機農業と太陽光発電を行うソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）に挑戦することで、地域の課題解決と経済活性化を図るプロジェクトです。
	公益社団法人茨城県森林・林業協会
	公益信託「エコーいばらき」環境保全基金

5. 協賛金贈呈式の開催について

株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホックへの協賛金贈呈式を 2024 年 6 月 10 日（月）に開催しました。



左から 秋野頭取、水戸ホーリーホック 小島社長、同チームマスコットキャラクター ホーリーくん

以上